


クラス	C107	担当教員	yuantian zhongzhi 原田 忠直
		中国経済の謎に迫る！	
	著書・論文 研究課題等	①「民工（男性）的“希望”与实现的可能性-基于浙江省 H 市民工问卷调查结果-」『日本当代中国研究 2015』（2016） ②「農民工からみた中国社会—ある一枚の写真から読み解く中国社会」『中国 21』（44 号）（2016） ③「关于现代中国“承包”与“发展形态”的考察」『日本当代中国研究 2017』（2017）	
<b>ゼミナール概要</b>			
<b>キーワード：</b> 「中国的なるもの」、「曖昧な制度」、「包」、「中国経済のシェーマ」			
<b>【ゼミの目的】</b> 本ゼミでは、柏祐賢と加藤弘之によって展開された「包」論を再考し、「包」という一つの経済システムが内包する「特殊性」を明らかにする。そして、その先に、「これまでとは異なる枠組みで経済学を捉え直す、ある種の糸口」を探し求めた加藤弘之に従い、その糸口を追求すること、言い換えれば、「高度な統計分析や理論モデルを用いて」分析を進めるのではなく、あくまで「包」という「中国的なるもの」から「中国経済のシェーマ」を明らかにすることが目的である。すなわち、本ゼミでは、「包」の「特殊性」から「中国経済のシェーマ」を構築する試みを行う。当然、このようなアプローチは、西洋近代主義に対する抵抗がある。もちろん、「中国経済のシェーマ」から「世界を見出す」つもりは毛頭ない。さらに、中国が経済大国へ台頭するなかで、その「シェーマ」がやがて世界を圧巻するだろうとは夢にも描いていない。ただ、「西洋に世界を見出す」、「西洋の発展にどの国も追随する」という考え方をそのまま鵜呑みにしない立場から、中国経済についての理解を深める。			
ゼミでは、以下のテキストを利用し進める。			
① 柏祐賢著『経済秩序個性論』（Ⅱ～Ⅲ）（人文書林刊 1948 年） ② 村松祐次著『中国経済の社会態制』（東洋経済新報社 1949 年） ③ 加藤弘之著『中国の経済発展と市場化』（名古屋大学出版会 1997 年） ④ 加藤弘之著『「曖昧な制度」としての中国型資本主義』（N T T 出版 2013 年） ⑤ 加藤弘之著『中国経済学入門』（名古屋大学出版会 2016 年）			
		<b>担当教員からのメッセージ</b>	
上記に記してあります。		①読書好きであること。 ②議論好きであること。 ③皮蛋と醉蝦が食べられること。	